

授業シラバス

コース名 バッグメーカーコース

科目名	メイキング基礎実習 I			授業のねらい 鞆の基本的な構造と制作技法を習得していく。また、鞆にまつわる歴史的知識の学習や、鞆を構成する革素材についての学習を行う。
担当教員	櫻井、清水			
対象学年	1年			
必修選択の別	必修			
授業時数	576時間	単位数	18単位	到達目標
開講期間	2021.4.1～2022.3			鞆の基礎的なパターンから縫製までの一連の制作技法を学び、学生が自らの手で基本スタイルの鞆を制作することができる技術習得を目標とする。
授業形態	実習			
備考	実務経験有＝櫻井(バック製造・修理)			
授業の計画展開	メイキング基礎実習 I-1(トートバッグ制作) 内容 パターン基礎練習・ミシンの取り扱いについて・ミシンによる縫製練習 規定サイズのポーチ作成・通しマチパターン制作技術の習得 メイキング基礎実習 I-2(ドラムバッグ制作) 内容 横マチパターン制作技術の習得 メイキング基礎実習 I-3(ショルダーバッグ制作) 内容 ショルダーベルト制作・玉付け、玉まとめ技法習得・革ヘリ巻き技法習得・革切れ目仕上げの技術習得 メイキング基礎実習 I-4(革小物制作) 内容 財布制作(三方ファスナーのコインケース)・小物の革漉き・吊り込み・菊寄せ技術習得 メイキング基礎実習 I-5(ポストンバッグ制作) 内容 ミシン縫製による革の丸手ハンドル制作・通し身頃パターン制作技術の習得・内装落とし込み技法の習得 玉付け/玉まとめ技法の習得・革漉き技術を学ぶ メイキング基礎実習 I-6(革のトートバッグ制作) 内容 革バッグ外縫い技術の習得 表面加工(切り替え)バリエーション・革漉き技術の習得			
履修上の注意事項	基本技法の習得のため、一つ一つの工程を丁寧に行うことが大事である。			
評価方法	1. 各実習における実制作した鞆のクオリティによる評価。 2. 各実習における制作技法をまとめたレポートの内容による評価。 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します。			
テキスト	オリジナルテキスト 【BASIC KNOWLEDGE OF SHOES & BAGS】			
参考文献	なし			

授業シラバス

コース名 バッグメーカーコース

科目名	メイキング造形実習 I		授業のねらい 1年次に学ぶ制作技法を基に、基礎的なスタイルから各自のアレンジを加えたオリジナルデザインの鞆制作を行う。	
担当教員	櫻井、清水			
対象学年	1年			
必修選択の別	必修			
授業時数	168時間	単位数	5単位	到達目標 各デザインに合わせた適切な制作構造と技法を選択し、オリジナルデザインの鞆を完成させることを目標とする。
開講期間	2021.4.1～2022.3			
授業形態	実習			
備考	実務経験有＝櫻井(バック製造・修理)			
授業の計画展開	メイキング造形実習 I-1(販売の為のバッグ制作)			
	内容	コストと生産効率を考え制作する 企業連携プロジェクト 企業によるテーマに基づき企業ブランドに沿ったデザイン提案力を学習する		
	メイキング造形実習 I-2(オリジナルバッグ制作)			
	内容	習得してきた技法を用いてオリジナルバッグを制作		
履修上の注意事項	計画性をもち、基本技法の復習を兼ねて制作することが大事である。			
評価方法	課題提出物のクオリティによる評価			
テキスト	オリジナルテキスト 【BASIC KNOWLEDGE OF SHOES & BAGS】			
参考文献	なし			

授業シラバス

コース名 バッグメーカーコース

科目名	デザイン基礎実習 I			授業のねらい	
担当教員	永尾、相田			デザイン画描写における基本的なデッサン技術を学び、鞆の形体認識や立体物の陰影表現方法を習得する。また、鞆制作に必要な不可欠な図面作成の技術を学ぶ。 PCグラフィックソフトを利用した平面上における作品のプレゼンテーション技法を習得する。	
対象学年	1年				
必修選択の別	必修				
授業時数	152時間	単位数	4単位		
開講期間	2021.4.1～2022.3			到達目標	
授業形態	実習			鉛筆での描写や、マーカーを使ったデザインスケッチなど、様々なツールを使ったデザイン画作成と原寸図面の作成ができるスキルを身につけることを目標とする。	
備考	実務経験有＝相田(バッグデザイナー)				
授業の計画展開	デザイン基礎実習 I-1(ドリルによるスケッチ演習1)			32	1
	内容 ドリルを使ったトレーニング				
	デザイン基礎実習 I-2(原寸図面基礎演習1)			32	1
	内容 バッグ基礎知識・原寸図面の基礎表現・立体の平面表現・原寸ドリル				
	デザイン基礎実習 I-3(デザイン史、トレンドからの演習)				
	内容 国内外の歴史やトレンドからの発想、レポート作成				
	デザイン基礎実習 I-4(ドリルによるスケッチ演習2)			56	1
	内容 ドリルを使ったトレーニング				
履修上の注意事項	デザイン基礎実習 I-5(原寸図面基礎演習2)			32	1
	内容 バッグ基礎知識・原寸図面の基礎表現・立体の平面表現・原寸ドリル				
	デザイン基礎実習 I-6(グラフィックソフト演習)			32	1
	内容 グラフィックソフトを使用し、レイアウトデザインについて学ぶ				
履修上の注意事項	物の立体感と素材感をよく観察することが大事である				
評価方法	1. パースや陰影表現などの理解度による評価。 2. 各課題における提出物のクオリティによる評価。 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します。				
テキスト	オリジナルテキスト 【BASIC KNOWLEDGE OF SHOES & BAGS】				
参考文献	なし				

授業シラバス

コース名 バッグメーカーコース

科目名	デザイン造形実習 I			授業のねらい 立体切削や立体コラーージュの課題を通して基礎造形を学び、バッグデザインの為の感覚を養う。また各課題を通して、様々な素材の扱い方や道具の使用方法を学ぶ。
担当教員	清水、永尾			
対象学年	1年			
必修選択の別	必修			
授業時数	96時間	単位数	3単位	到達目標 立体に対するバランス感覚を身につけることを目標とする。また様々な素材の探求や実験を行い、オリジナリティの高いバッグデザインを展開できる力を身につけることを目標とする。
開講期間	2021.4.1～2022.3			
授業形態	実習			
備考				
授業の計画展開	デザイン造形実習 I-1(オリジナルデザイン制作) 内容 素材探求、立体造形からのオリジナルバッグデザイン			
履修上の注意事項	授業内での造形に対する積極的実験検討と、日常生活において展覧会や様々なものを観察することが大事である			
評価方法	課題提出物のクオリティによる評価。 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します。			
テキスト	オリジナルテキスト 【BASIC KNOWLEDGE OF SHOES & BAGS】、学内作成の課題要項を使用			
参考文献	なし			

授業シラバス

コース名 バッグメーカーコース

科目名	コンピューター実習 I		授業のねらい Rhinocerosソフトを使用し、基本的な3DCADソフトの操作方法を知る。	
担当教員	本多			
対象学年	1年			
必修選択の別	必修			
授業時数	32時間	単位数	1単位	到達目標 各自がデザインしたバッグ用金具やアクセサリを造形可能な形状に完成させることを目標とする。
開講期間	2021.4.1～2022.3			
授業形態	実習			
備考				
授業の計画展開	コンピューター実習 I -1 (RhinocerosによるCADソフト実習) 内容 Rhinocerosの基本操作。立体作成チュートリアル。造形の為の留意点説明。 オリジナルデザイン金具制作			
履修上の注意事項	造形可能な形状であること(各部位の寸法、パーツ同士のクリアランス、閉じた形状)			
評価方法	デザイン、機能、CADソフト操作能力を総合的に評価。			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	なし			

授業シラバス

コース名 バッグメーカーコース

科目名	メイキング基礎実習Ⅱ			授業のねらい 新しい技法のバリエーションを習得する。また商品製造工場への見学研修等により、現場を知る学習を行う。
担当教員	櫻井、清水			
対象学年	2年			
必修選択の別	必修			
授業時数	192時間	単位数	6単位	到達目標 新たな制作技法と知識を学び、制作できる鞆のスタイル数を増やし、様々なデザインに対応できる力を身につけることを目標とする。
開講期間	2021.4.1～2022.3			
授業形態	実習			
備考	実務経験有＝櫻井(バッグ製造・修理)			
	メイキング基礎実習Ⅱ-1(口金付きバッグ制作) 内容 口金付きバッグのパターン制作・一本手パターン技法、手縫い技術を学ぶ			
	メイキング基礎実習Ⅱ-2(立体縫製による革小物制作) 内容 立体縫製による小物パターン技法を学ぶ・イセ込み技法を学ぶ			
履修上の注意事項	一年次の基礎技術をふまえ、応用技術に対して注意深く丁寧に作業を行う事が大事である。			
評価方法	各実習における実制作した鞆のクオリティによる評価。 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します。			
テキスト	オリジナルテキスト【BASIC KNOWLEDGE OF SHOES & BAGS】、学内作成の課題要項を使用			
参考文献	なし			

授業シラバス

コース名 バッグメーカーコース

科目名	メイキング造形実習Ⅱ			授業のねらい マーケットやターゲットのサーチを行い、社会・業界に対する新たなアイデアを提案する学習を行う。
担当教員	櫻井、清水			
対象学年	2年			
必修選択の別	必修			
授業時数	336時間	単位数	10単位	到達目標 テーマに対する目的・優位性・利便性を明確にし、コンセプト立案した上でのデザイン・制作を行う力を身につけることを目標とする。
開講期間	2021.4.1～2022.3			
授業形態	実習			
備考	実務経験有＝櫻井(バック製造・修理)			
	メイキング造形実習Ⅱ-1(用途を考えたバッグ制作) 内容 キーワードからテーマを設定し、デザイン展開及びバッグ制作			
	メイキング造形実習Ⅱ-2(販売の為のバッグ制作) 内容 コストと生産効率を考え制作する 企業連携プロジェクト 企業によるテーマに基づき企業ブランドに沿ったデザイン提案力を学習する			
履修上の注意事項	習得してきた技術を用い、計画性を持って制作することが大事である			
評価方法	各課題における提出物のクオリティによる評価。 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します。			
テキスト	オリジナルテキスト【BASIC KNOWLEDGE OF SHOES & BAGS】、学内作成の課題要項を使用			
参考文献	なし			

授業シラバス

コース名 バッグメーカーコース

科目名	デザイン基礎実習Ⅱ			授業のねらい ブランド企画からマーケットリサーチ、トレンドリサーチなど、業界におけるバッグインハウスデザイナー／プランナーに必要なリサーチ業務、デザイン展開を学ぶ。
担当教員	清水、永尾			
対象学年	2年			
必修選択の別	必修			
授業時数	192時間	単位数	6単位	到達目標 ブランド立案からデザイン画によるコレクション作成まで、インハウスデザイナーとしてのスキルを身につけることを目標とする。
開講期間	2021.4.1～2022.3			
授業形態	実習			
備考				
授業の計画展開	デザイン基礎実習Ⅱ-1(マーケティング演習) 内容 既存ブランドリサーチ・ターゲット分析 デザイン基礎実習Ⅱ-2(ポートフォリオ制作) 内容 学内就活イベント“HELLO”用ポートフォリオ制作 デザイン基礎実習Ⅱ-3(デザイン史、トレンドからの演習) 内容 国内外の歴史やトレンドからの発想、レポート作成 デザイン基礎実習Ⅱ-4(デザインコレクション制作) 内容 シリーズ展開を学ぶ・コレクションデザインを学ぶ デザイン基礎実習Ⅱ-5(コンセプトブック制作) 内容 展開したデザイン展開をコンセプトブックにまとめる方法を学ぶ			
履修上の注意事項	ブランドやマーケットのリサーチにおいて、日常的に世の中で売られている商品群をよく観察する事が大事である			
評価方法	各実習における実制作した作品のクオリティによる評価。 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します。			
テキスト	オリジナルテキスト【BASIC KNOWLEDGE OF SHOES & BAGS】、学内作成の課題要項を使用			
参考文献	なし			

授業シラバス

コース名 バッグメーカーコース

科目名	卒業制作			授業のねらい 2年間で学習した技術や知識を活かし、社会・業界に対する新たなアイデアを提案する学習を行う。
担当教員	櫻井、清水			
対象学年	2年			
必修選択の別	必修			
授業時数	272時間	単位数	8単位	到達目標 各学生が自身のテーマからコンセプト立案をし、作品を完成させることを目標とする。
開講期間	2021.4.1～2022.3			
授業形態	実習			
備考	実務経験有＝櫻井(バック製造・修理)			
	卒業制作Ⅲ-1(卒業制作のためのデザイン制作) 内容 各自でテーマを決め、業界社会に提案する新たな鞆をデザインする			
	卒業制作Ⅲ-2(卒業制作) 内容 業界社会に提案する新たな鞆を制作する			
履修上の注意事項	二年間の実習の中から、個人の興味と社会との繋がりを良く観察することが大事である			
評価方法	各課題における提出物のクオリティによる評価。 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します。			
テキスト	なし			
参考文献	なし			

授業シラバス

コース名 バッグメーカーコース

科目名	コンピューター実習 II		授業のねらい Rhinocerosソフトを使用し、基本的な3DCADソフトの操作方法を知る。	
担当教員	本多			
対象学年	2年			
必修選択の別	必修			
授業時数	32時間	単位数	1単位	到達目標 各自がデザインした持ち手ハンドルを造形可能な形状に完成させることを目標とする。
開講期間	2021.4.1～2022.3			
授業形態	実習			
備考				
授業の計画展開	コンピューター実習 II-1 (RhinocerosによるCADソフト実習) 内容 Rhinocerosの応用操作。立体作成チュートリアル。 オリジナルデザインハンドル制作			
履修上の注意事項	造形可能な形状であること(各部位の寸法、パーツ同士のクリアランス、閉じた形状)			
評価方法	デザイン、機能、CADソフト操作能力を総合的に評価。			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	なし			